

別紙 「平成31年度 学力向上アクションプラン」

足立区立青井小学校 学校長 齋藤 智子

	新継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標 (=数値) <いつまで・何を・どの程度>
1	継続・改善	朝学習	全児童 国語 算数	毎週火、木 始業前15分	【指導者体制】 担任 【取り組みのねらい・目的】 学習内容の復習・確認を行う。 【使用教材】 プリント教材、ドリル	定着度確認テスト (7月、12月実施)	12月に実施する定着度確認テストで目標値を通過する児童90%を目指す。
2	継続・改善	放課後補習教室	全学年 (学力調査の結果から抽出した児童)	毎週木 放課後45分	【指導者体制】 全職員 【取り組みのねらい・目的】 勉強ができる喜びを味わわせるために実施。つまずきをさかのぼり、基礎となる問題や演習問題を中心に少人数指導。 【使用教材】 プリント教材(次へのステップ、東京ベーシックドリル等)	定着度確認テスト (7月、12月実施)	12月に実施する定着度確認テストで目標値を通過する対象児童80%を目指す。
3	継続・改善	サマースクール	全学年 (学力調査の結果から抽出した児童)	夏休み期間中の10日 各日60分	【指導者体制】 全職員 【取り組みのねらい・目的】 教職員を全学年に分担し、少人数指導のもと進める。過去学年にさかのぼったつまずきの克服や、現学年の授業内容で理解が完全でない内容の補充問題を行う。 【使用教材】 プリント教材(次へのステップ、東京ベーシックドリル等)	定着度確認テスト (7月、12月実施)	12月に実施する定着度確認テストで目標値を通過する対象児童80%を目指す。

4	継続・改善	家庭学習の手引き発行	全学年 全員	年1回 4月	【取り組みのねらい・目的】 年間を通した家庭学習の啓発をねらいとした 4月の発行。	学年に応じた 学習時間	児童アンケート「家 庭学習の目標時間達 成」を前年度以上と する。
5	継続・改善	組織的な取組による教師力の 向上	全教員	通年	【取り組みのねらい・目的】 ①小中連携をさらに推進し中学校教員の専門性 や指導技術を小学校にも取り入れ、小学校教員 の指導力の向上を図る。 ②教科指導専門員による指導をすべての教員が 年間2回以上実施して指導を受け、足立スタン ダードに基づいた課題解決型授業について学 ぶ。	児童アンケー ト（12月）	児童アンケート「授 業がわかりやすい」 の項目で肯定的評価 98%を目指す。
6	継続・改善	放課後自習室「学 viva（まなび ば）」の開設	第5・6学年児童	通年（火、金）	【取り組みのねらい・目的】 家庭学習など、学習習慣が身に付いていない児 童に対して、自主的に学習に取り組み時間と空 間を提供する。	学年に応じた 学習時間	児童アンケート「家 庭学習の目標時間達 成」を前年度以上と する。
7	新規	確認テスト後の学年面談	全教員	7月、12月、 3月	【取り組みのねらい・目的】 確認テスト後に、学年ごとに調査結果の分析・ 検討を行い、具体的な対策を検討する。	定着度確認テス ト (7月、12月実 施)	12月に実施する定着度 確認テストで目標値を 通過する児童90%を目 指す。